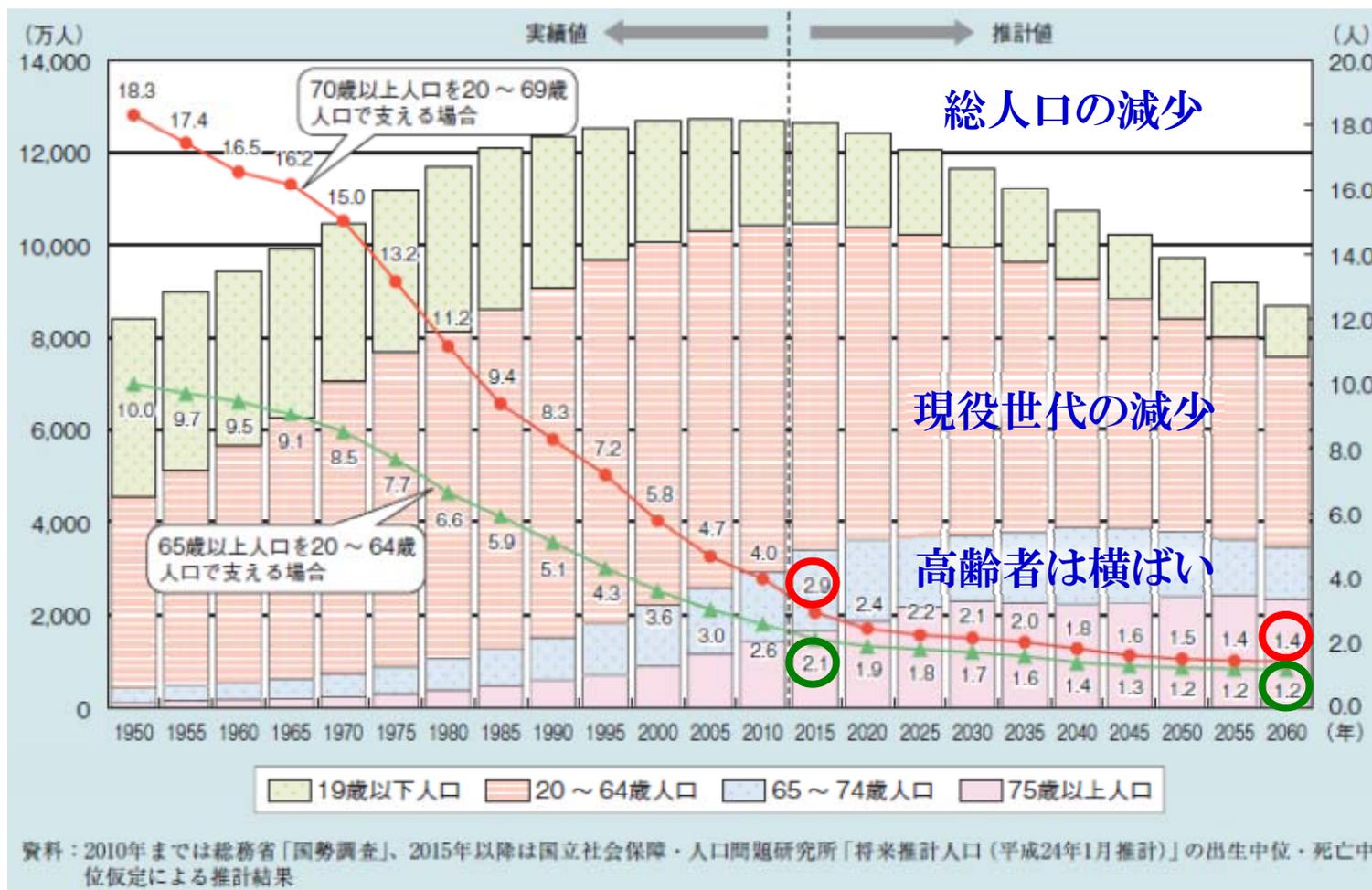


高齢化社会における医療機器企業の役割

テルモ株式会社 研究開発本部
粕川博明

高齢化社会の到来

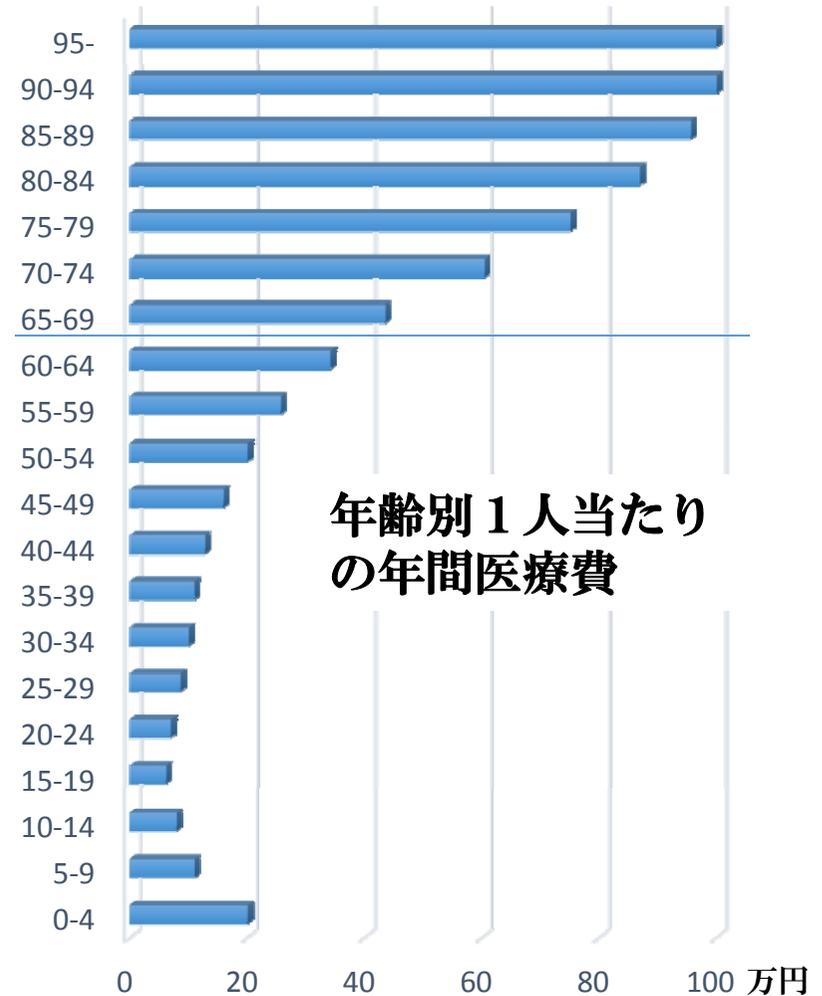
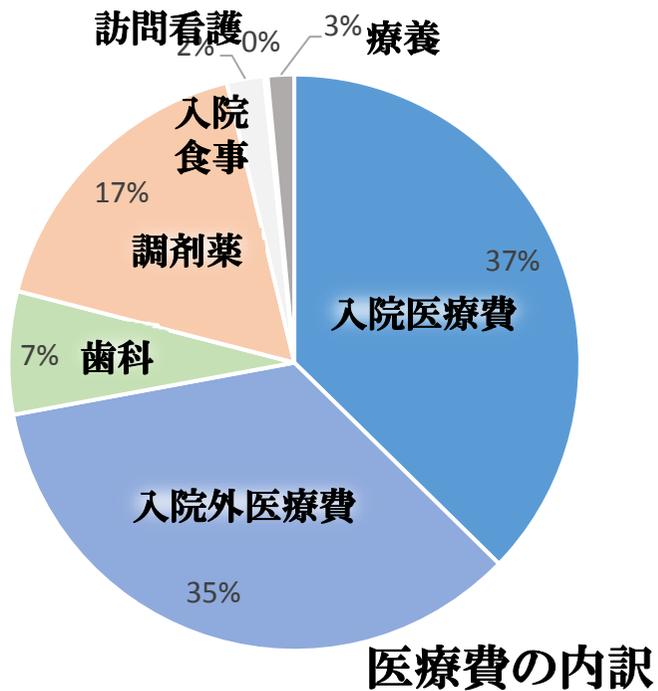
4人に1人が65歳以上/65歳1人を現役世代3人で支える



国民医療費

39兆円 (2013年)

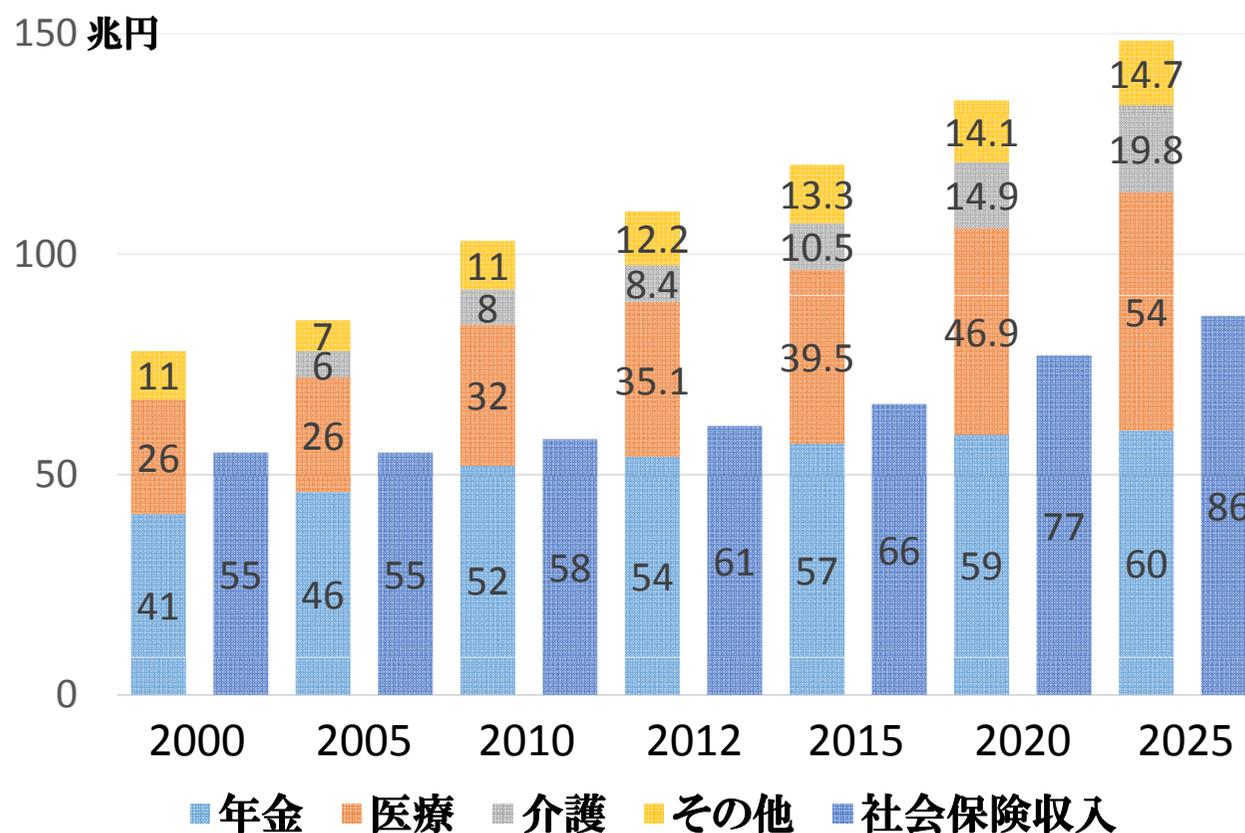
*65歳以上が56%を占める



厚労省, 医療保険データベース(2012)

社会保障制度

医療・介護費の急増、社会保険料収入と乖離



出典: KPMG

高齢化社会における医療課題と貢献

- **課題**

- » 健康悪化
- » 医療費増加
- » 地域医療・介護
- » 医師・病院の不足

- **企業の貢献**

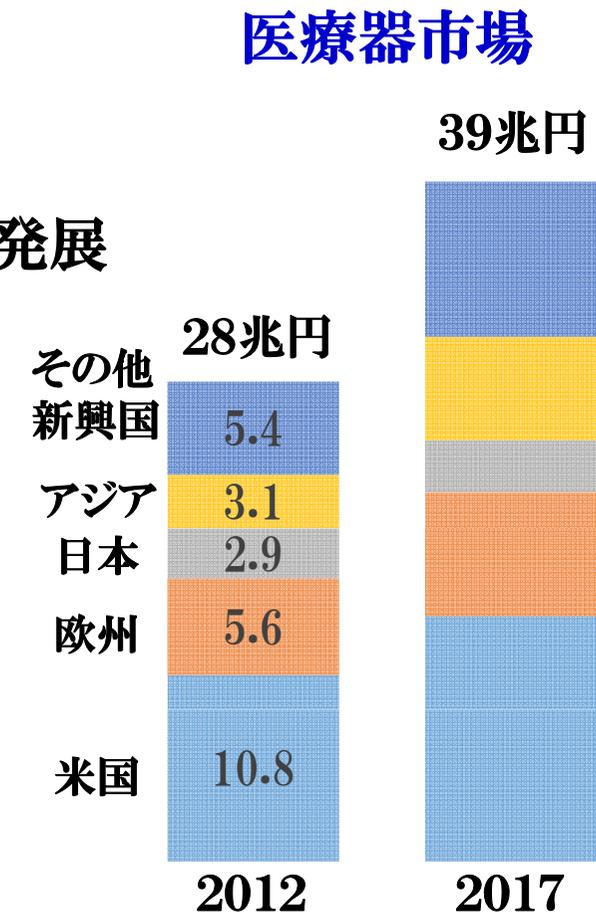
- » 患者様にやさしい医療・革新的製品を届ける
- » 医療機関・介護現場に安全と効率を提供する
- » 国民の医療負担を減らす
- » 予防医療、在宅・自分でできる医療を提案する

医療機器

- 医療従事者の皆様に使って頂いて、はじめて患者様に医療を提供できる
- 日本の医療機器
 - » 製品数: 1.8万品目(30万種類)
 - » 市場規模: 約2.4兆円
 - » 企業数: 4,900社(80%が中小企業) 従業者数: 12万人
- 産業の特徴
 - » 景気動向に左右されにくい
 - » 高齢化、経済発展、技術進歩で成長
 - » 知的集約型産業 (=高付加価値産業)

日本でこそ育成されるべき産業

- **医療器市場、世界的に成長**
 - » 28兆円、成長率 5-7%
 - » 先進国: 高齢化、医療費と介護の課題
 - » 発展途上国: 人口増加、高齢化、経済発展
 - » 日本は横ばい
- **日本の強みを活かし、成長産業へ**
 - » ものづくり日本
 - » 高齢化の最先端
 - » アベノミクス3本の矢



出典: Espicom WW Medical Market Forecast to 2017 (2012)

テルモ株式会社

• 1921年創立

第一次大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するため、北里柴三郎博士をはじめとする医師らが発起人となり設立

• 社名の由来

体温計を意味するドイツ語から命名
Thermometer(テルモメーター)



国産体温計
の標準器

医療の挑戦者たち
人にやさしい医療へ

熱をもて。誠をもて。

資料提供/学校法人北里研究所

明治時代、世界の医学史に偉大な足跡を残す日本人がいた。細菌学者、北里柴三郎博士、ドイツへ留学し、細菌学の第一人者ロベルト・コッホ博士のもとで研究を深める。細菌学は最先端の学問領域だった。不可能とわかれていた破傷風の純粋培養に世界で初めて成功し、その血清療法を考案するなど目覚ましい成果をあげ、「世界の至宝」となった。

一八九一年(明治二十四年)のある日、ストラスブルグ大学に留学中の生化学者、荒木寅三郎(後の京都帝国大学総長)が北里を訪ねた。そのとき、彼はこう言っていた。若き友人を助ました。「人に熱と誠があれば何事も達成する。世の中は決して行き詰まらぬ。もし行き詰まったとしたら、それは人に熱と誠がないからだ。」研究への取り組みや人との交わりに対する信念だった。

留学生たちは皆、祖国のために貢献したいという気概にあふれていた。北里も、欧米の名門大学からの招きを断り、祖国のために働くことと決意する。帰国後、北里はさまざまな困難と闘いながら、世界に誇る伝染病研究所を設立し、日本の近代医学の基礎を築いた。福沢諭吉の思っているために慶応義塾大学医学部を創設し、さらに日本医師会を設立するなど医療行政の整備にも力を尽くした。

人を東へ、人を率い、圧倒的なパワーで医療の進歩と回づくりに貢献した北里三郎博士。二〇一三年、年頭、博士は激動の時代の日本を、きつこの言葉で激励しているにちがいない。「熱をもて、誠をもて。」

(監修) 北里三郎先生 北里大学医療衛生学部長

テルモは挑戦しています。
この時代の医療に必要なもの、必要なこと。

テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里柴三郎博士をはじめとする医師たちが発起人となり、1921年に設立された企業です。「医療を通じて社会に貢献する」の理念のもと、注射器から先端医療機器まで、その時代に必要なあらゆる医療機器やサービスを、幅広く日本および世界に提供しています。

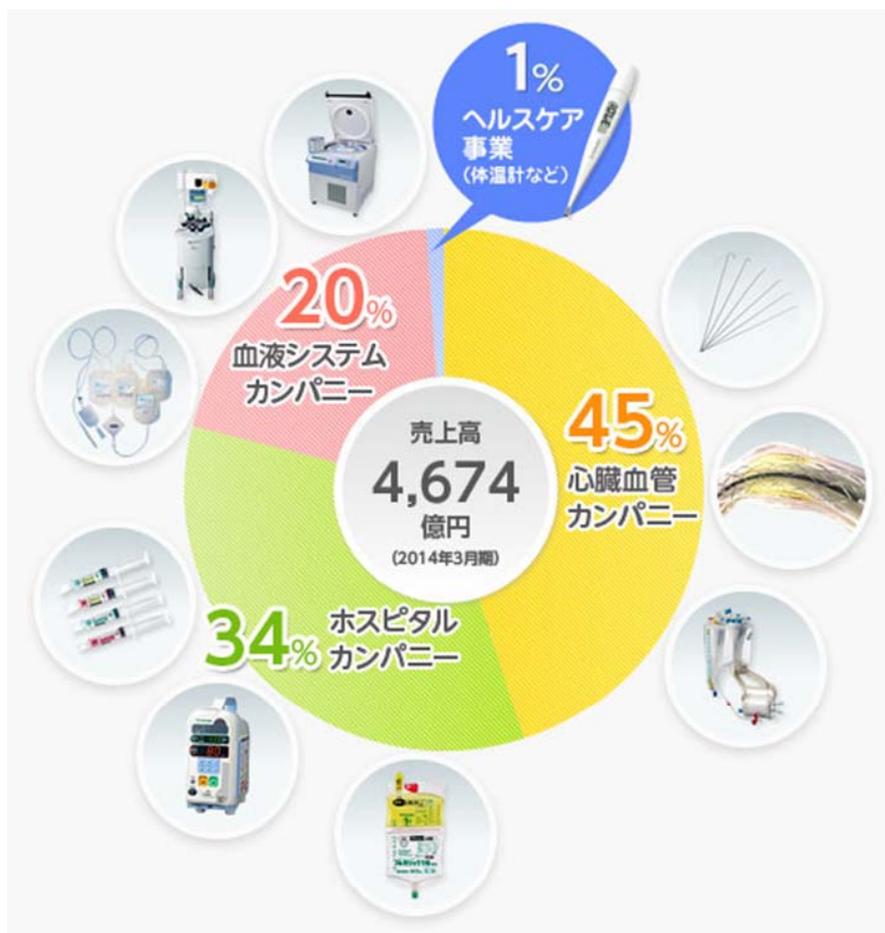
より詳しい内容は、テルモWEBサイトへ。

テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 <http://www.terumo.co.jp/>

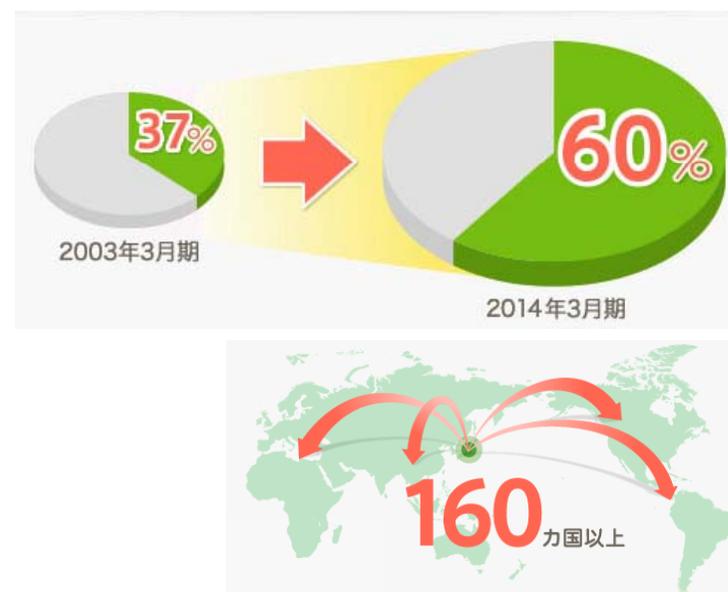
© TERUMO. テルモはテルモ株式会社の登録商標です。

テルモの事業内容

事業構成と売上比率



海外売上比率



- 社員数 4,764名
- テルモグループ関連子会社 81社, 19,263名
- 生産拠点 25 (国内6, 海外19)

私たちが大切にしていること

- 企業理念

医療を通じて社会に貢献する

- ビジョン

ユニークな輝く技術で、人にやさしい医療を実現します

- 企業活動規範

- » 開かれた経営
- » 新しい価値の創造
- » 安全と安心の提供
- » アソシエイトの尊重
- » 良き企業市民

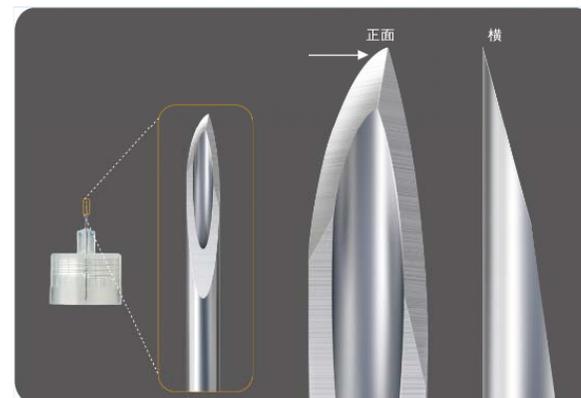
- 安全と安心
- 痛み、侵襲の少ない
- 使いやすい
- 治らない疾患を治す
- 予防、自分でできる
- 短時間、経済価値

世界最細の注射針

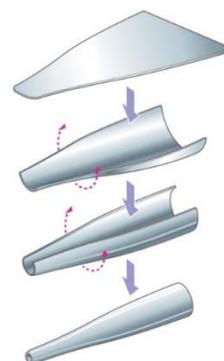
糖尿病の注射針



先端部の直径
0.18mm



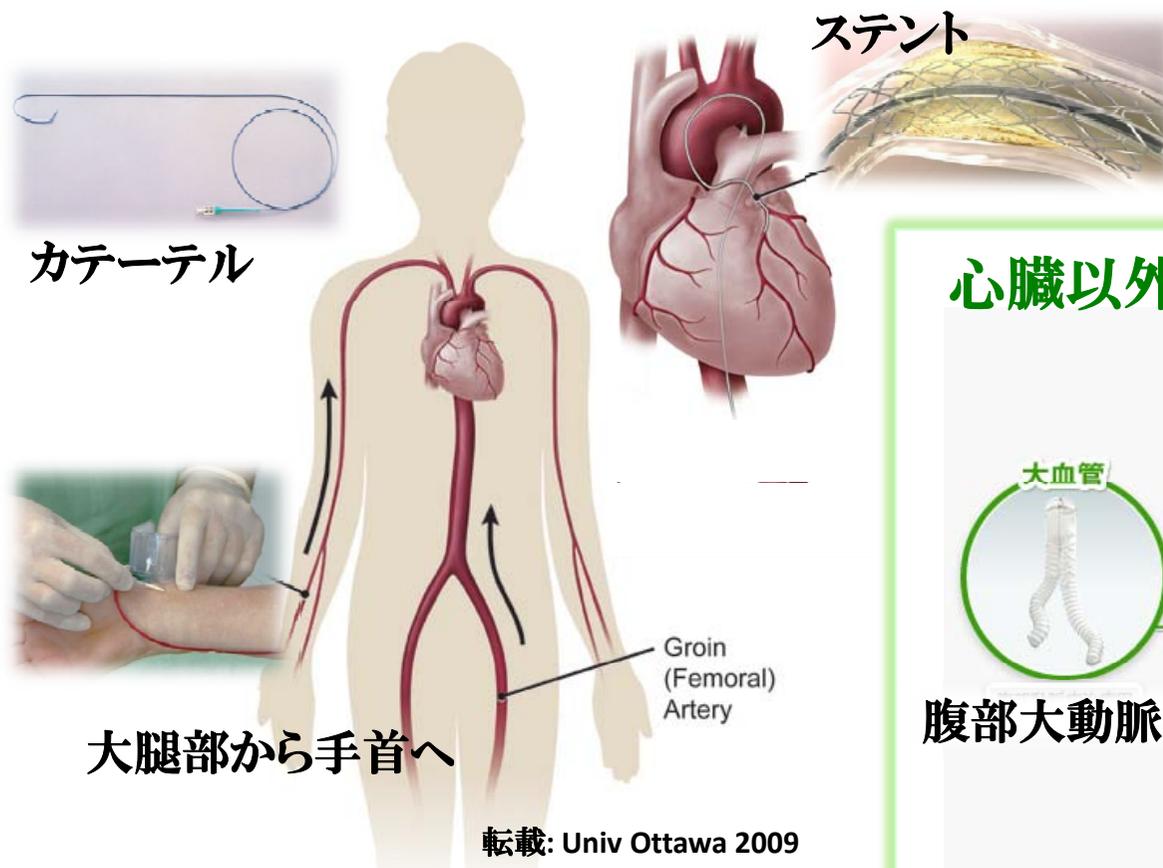
突き刺すのではなく、
「小さく切る」針先形状



製造方法
一枚の板から丸めて加工

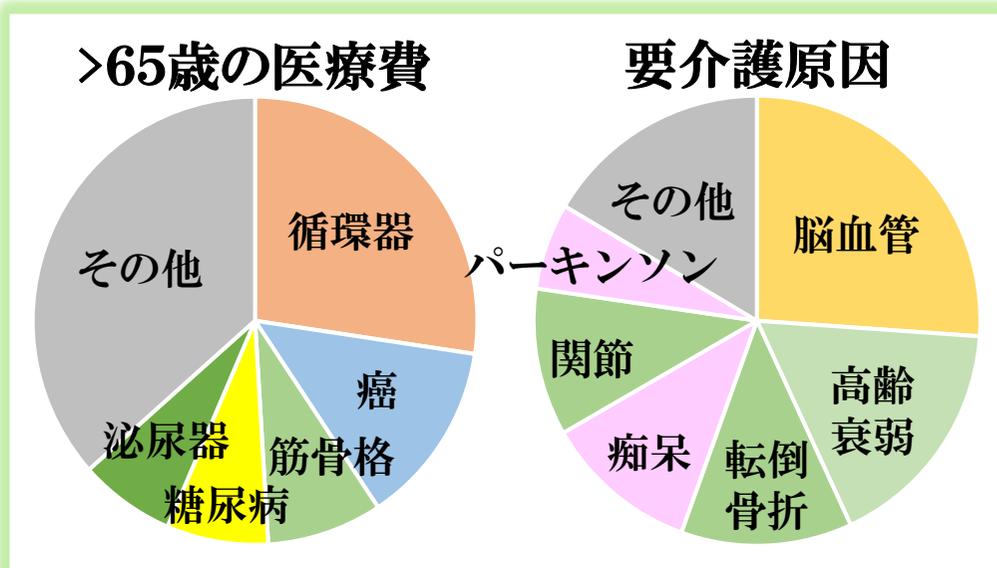
侵襲の少ない心臓血管治療

外科治療 → カテーテル治療



予防、在宅・自分でできる医療

高齢者疾患



出典: 厚労省データ

体温



血圧



血糖



活動量計



尿検査



転倒防止靴下

つま先アップで、つますきにくい

テルモ 転倒予防くつ下 アップウォーク

テルモ転倒予防くつ下「アップウォーク」は、転倒事故を防ぐために開発された商品です。

60歳以上で、1年間に自宅で転んだことのある人は10.6%、外出時の場合も11.8%います。そのうち、男性で2人に1人、女性で3人に2人が、ケガをしています。加齢による足裏運動機能低下による転倒、その原因となるのは、つますきです。テルモ転倒予防くつ下「アップウォーク」なら、つま先が上がり、つますきにくくなります。

ヒッププロテクター

転倒時の衝撃をやわらげます。

テルモ ヒッププロテクター マモリーナ

テルモ ヒッププロテクター「マモリーナ」は、いきいきと活動的なシニア女性を応援します。

60歳以上で、1年間に自宅で転んだことのある女性は13.4%、外出時の場合も12.8%います。そのうち66.9%もの人が、ケガをしています。(※平成24年統計調査)

転倒からケガをする割合は、男性より女性が高く、高齢者の骨量低下が一因とされています。これを防ぐのに有効なのが、ウォーキングなど、中程度の運動習慣です。伸縮性の高いソフトクッション素材の、ヒッププロテクター「マモリーナ」は、転倒時の衝撃をやわらげるパッド付きパンツ。いきいきと活動的なシニア女性を応援します。

医療従事者との連携： テルモメディカルプラネックス®

- 医療従事者のトレーニング施設
- 第2の研究開発センターの位置づけ

テルモメディカルプラネックスの価値



結語: 医療機器企業の役割

- 医療を通じて、高齢化社会に安全と安心を提供する
- 世界に誇れる医療を日本から発信する
- 医療に関わる皆様と連携し、人にやさしい医療を届ける
- 新しい医療を創出する人材を育成し、日本を活性化する



ご清聴、ありがとうございました

テルモ研究開発本部
神奈川県足柄上郡中井町

 **TERUMO** はテルモ株式会社の商標です。
テルモ、アップウォーク、マモリーナ、テルモメディカルプラネックスは
テルモ株式会社の登録商標です。
©テルモ株式会社 2014年10月